

～開館記念イベント～

11月14日(日)には開館記念イベントとして、展示室を無料開放、記念品として紅白餅を来館者にプレゼントしました。当日はたくさんのご来館をありがとうございました!27周年を迎えた歴博をこれからもよろしく願っています。



～昭和レトロブーム～

今、10代～20代の間でレトロブームが巻き起こっているそうです。試しに当館Twitterアカウントでも「昭和の街角」の様子をご案内してみたのですが、他の投稿に比べて多くの「いいね!」をいただき、確かにみなさまの関心の高さが伺えました。まだ常設展を観覧したことがないという方、人気の近・現代の展示室へ昭和レトロを感じてみるのがいいかもしれません。



令和3年度 歴史文化講座 下期

講座受講時のお願い

- ①受付時に手指の消毒をお願いいたします。
- ②マスクの着用をお願いいたします。
- ③講座の写真撮影、録画・録音はご遠慮ください。

歴史講座 13:30～15:00

講座番号⑦ 特別展「古代文学と伊予国」関連講座

古代文学と伊予国

日時:2月23日(水・祝)
講師:大本敬久(当館専門学芸員)

講座番号⑧ 光源氏の栄華と終焉(2)

柏木からの女三宮への文を源氏は見つけてしまう
—事件の破局的展開へ—

日時:3月19日(土)
講師:伊井春樹(当館名誉館長)

古文書講座 13:30～15:00

講座番号⑨ 行政資料からみた近代の城郭①

日時:1月15日(土)
講師:平井 誠(当館専門学芸員)

講座番号④ 行政資料からみた近代の城郭②

日時:2月12日(土)
講師:平井 誠(当館専門学芸員)

考古講座 13:30～15:00

講座番号⑤ 愛媛の記念物100年

日時:1月30日(日)
講師:亀井英希(当館専門学芸員)

民俗講座 13:30～15:00

講座番号④ 四国遍路の道標石

日時:2月19日(土)
講師:今村賢司(当館専門学芸員)

申込方法

希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前までにハガキなどでお申し込みください。※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。

お問い合わせ

企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL(0894)62-6222 FAX(0894)62-6161

展示スケジュール

2022.1-3

- 2022.1 新春イベント 2022年1月2日(日)・3日(月)
テーマ展
「弘法大師空海伝説と南予の四国霊場・遍路道」
2021年12月21日(火)～2022年1月30日(日)
- 2022.2 新春イベント 2022年1月2日(日)・3日(月)
テーマ展
「愛媛の記念物100年」
2021年12月21日(火)～2022年4月10日(日)
- 2022.3 新春イベント 2022年1月2日(日)・3日(月)
テーマ展
「おひなさま」
2022年2月11日(金・祝)～4月3日(日)
- 2022.4 新春イベント 2022年1月2日(日)・3日(月)
特別展
「古代文学と伊予国—愛媛の文学資料—」
2022年2月11日(金・祝)～4月7日(木)

常設展 密・空・海—内海清美展—
えひめの歴史と文化

※行事や展示、日程などが変更・中止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ご利用案内

■開館時間 9:00～17:30(入館は17:00まで)
■休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
■観覧料

	区分	一般	団体(2割引)
常設展・ テーマ展	大人(高校生以上)	540円	440円
	中学生以下	無料	無料
	65歳以上	280円	230円

※特別展の観覧料はその都度定めます。※団体は20名以上です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

Museum Calendar 2022.1-3

1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1		1	2	3	4	5									
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28						27	28	29	30	31		

愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 いよつづ総合企画
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話:0894-62-6222
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>
●発行日 令和4年1月11日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News

テーマ展

弘法大師空海伝説と南予の四国霊場・遍路道

2021年12月21日(火)～2022年1月30日(日)

会場:企画展示室

弘法大師空海が誕生し青年期に修行した四国には大師ゆかりの史跡や伝説が多くあります。大師が修行した霊跡には四国八十八箇所霊場が開創され、それらを巡礼する四国遍路は江戸時代以降に盛んになりました。

本展では四国遍路の中心である弘法大師信仰が庶民に広く深く浸透していく背景や、愛媛の弘法大師空海伝説について関連資料と写真パネル等で特集します。また、愛媛県歴史文化博物館のある南予地方の四国霊場と遍路道についてもあわせて紹介します。



高野山土産名所図絵



龍光院絵葉書

テーマ展

愛媛の記念物100年

2021年12月21日(火)～2022年4月10日(日)

会場:考古展示室

「文化財保護法」によると「記念物」とは、わが国にとって歴史上・学術上価値の高い遺跡、芸術上・鑑賞上価値の高い名勝地、学術上価値の高い動物・植物・地質鉱物の総称で、その中でも重要なものは文部科学大臣が「史跡」「名勝」「天然記念物」に指定することができるものとされています。

文化財保護法の前身の一つである「史蹟名勝天然紀年物保存法」は大正8(1919)年に施行され、その2年後にあたる大正10(1921)年には愛媛県内で最初の史跡に「伊予国分寺塔跡」、天然記念物に「三崎のアコウ」が指定されました。

そこで、県内最初の記念物指定から、100年の節目の年にあたる本年、県内にある国指定史跡・名勝・天然記念物を紹介し、それらが私たちの身近にあることを知っていただくとともに、「ふるさと愛媛の宝」として未来に受け継いでいく想いを共有していただけたら幸いです。

■開館時間:9:00～17:30(展示室への入室は17:00まで)

■観覧料:常設展観覧券が必要【大人(高校生以上):540円(440円)・高齢者(65歳以上):280円(230円)・中学生以下:無料 ※()内は20名以上の団体料金】

民俗

海苔の乾燥風景写真 (窪田重治写真コレクション)



当館では平成29年(2017)に窪田重治研究資料の寄贈を受け現在整理を進めています。

窪田氏は、愛媛大学で地理学を学び、松山東雲高等学校に勤務するかたわら愛媛県内の地理学の研究を続けました。資料のなかには、6千枚以上の厚紙の調査カードがあります。そのカードには調査写真等が貼り付けられ、コメントが書き添えられており、窪田氏の研究の一端が伺えます。

紹介するのは、その調査カードに貼られた写真の一枚で、西条市禎瑞で撮影した、海苔収穫後の天日干しの風景です。『愛媛県史』によると、「西条地区では昭和31年(1956)に海苔の養殖が開始された。」とあります。写真には、「禎瑞の『のり養殖漁家』、一毛作の水田が天海苔の乾燥場に利用され、青のりは縄に吊して干しあげる。」と記載されています。同日に撮影された他写真には「新兵衛新田の青のりの乾燥風景、餅やせんべいに入ると風味があるので大阪方面の製菓業者が買占める。」とあり、青のりの人気も伺えます。

撮影された日は、昭和35年(1960)2月15日。収穫の終わった稲の株が見える田には、建ち並ぶ棒に縄が数段張られ、収穫したたくさんの海苔が干され、風にたなびいています。奥には、四角の板状にした海苔が干されている様子も見え、農業と漁業を兼業していた様子が見て取れます。現在は機械乾燥のため、天日干しの風景はほとんど見かけなくなりましたが、昭和30年代、この地域の冬の風物詩でした。

(専門学芸員 安藤久美子)

年代：昭和35(1960)年
寸法：縦14.5cm×横20cm(写真のみ)
所蔵：当館蔵

民俗

弘法大師と衛門三郎の刷り物

弘法大師空海伝説の中でも代表的な衛門三郎伝説をご存知ですか。いくつか異説がありますが、元禄3年(1690)の真念著『四国遍礼功德記』には次のように記されています。要約すると、予州浮穴郡の衛門三郎は悪人で、禰に訪れた僧の鉢を杖で8つに割ってしまいます。その後、三郎の8人の子が次々に亡くなり、それが僧(実は弘法大師)への悪事の報いであると悟った三郎は、発心して大師の跡を追い四国遍路に出ます。21回の遍路でついに三郎は阿波国の焼山寺の麓で、死ぬ間際に大師に出会い、伊予の領主河野家に生まれ変わることを願います。大師は石に三郎の名前を書いて手に握らせ、その後、河野家にその石を握った子が生まれます。その子は成長して河野家を継ぎ、安養寺を再興して、その石を納めて石手寺と名前を改めました。

今回紹介するのは、遍路の元祖と伝えられる衛門三郎と弘法大師が描かれた木版の刷り物です。それは四国霊場第12番札所焼山寺の麓にある杖杉庵(徳島県西郡神山町)で発行され、「四国霊験場」の朱印が押されています。杖杉庵は衛門三郎が21回目の遍路でついに弘法大師に巡りあったと伝えられる場所にあり、庵の名前の由来は、「三郎の死後、大師が遺体を埋めて、持っていた杉の杖を墓標として立てると大木になった」という伝承によります。刷り物には「右工門三郎」と記され、巡礼姿の三郎は笠と杖を置いて跪き、礼拝して大師に許しを乞う場面が描かれています。こうした刷り物が衛門三郎伝説を広めました。

愛媛県松山市周辺には、第51番石手寺をはじめ、三郎の8人の子を埋葬したと伝えられる八塚、三郎の菩提寺で邸宅の跡地といわれる文殊院徳盛寺、遍路を始めた場所とされる札始大師堂など、衛門三郎ゆかりの地が多くあります。衛門三郎伝説は四国霊場の開創と遍路の普及を考える上で注目されています。

(専門学芸員 今村賢司)



年代：近代
寸法：縦33.0cm×横23.7cm
所蔵：当館蔵

関連ワークショップ

特別展開催期間中の④・⑤・⑥ 10:00~11:30/13:00~15:30

文香をつくろう

参加費 3つで200円(友の会会員は1回150円)



万葉集巻五(当館蔵)



積日本紀(伊予国風土記逸文・当館蔵)

「古事記」、「日本書紀」、「万葉集」など、飛鳥時代から平安時代の文学資料には、「熟田津」、「伊予湯」(道後温泉)、「伊予高嶺」(石鎚山)など伊予国(愛媛県)に関係する記事が数多く見られます。また「今昔物語集」などの説話文学では四国遍路のルートとされる「四国ノ辺地」、「大和物語」などの物語文学では、瀬戸内海での藤原純友の乱にまつわる物語なども語られています。そして、和歌文学、特に「古今和歌集」などの勅撰和歌集や百人一首の作者の中には、山部赤人、紀貫之、大江千里、能因法師、西行法師など四国や伊予国(愛媛県)と関係する史実や伝承を持つ人物が多く見られます。

そこで本展では、古代の伊予国や四国を取り上げた古典籍を一堂に集めて展示することで、伊予国(愛媛県)の歴史・文化の一端を紹介します。

特別展

古代文学と伊予国

—愛媛の文学資料—

2022年2月11日(金・祝)~4月7日(木)

【会場】企画展示室
【料金】特別展観覧券(高校生以上・四百円、小中学生・六十五歳以上・二百円)

テーマ展

おひなさま

2022年
2月11日(金・祝)~4月3日(日)

【会場】文書展示室 【観覧料】常設展観覧券

春の訪れとともに、三月三日のおひなさまを飾る上巳の節句がめぐってきます。当館では今年もおひなまつりを祝って、西条藩松平家の気品高い有職雛をはじめ、次郎左衛門雛、古今雛、御殿飾り、明治天皇の変わり雛など、多彩なおひなさまの姿を紹介します。春のおだやかな一時、博物館の愛らしいおひなさまをどうぞお楽しみください。



有職雛(西条藩松平家伝来) 江戸時代後期/当館蔵



次郎左衛門雛 江戸時代後期/個人蔵



明治天皇皇后変わり雛 明治41(1908)年/個人蔵・当館保管

おひなさまイベント



その他のイベントはHPをチェック!

博物館HPからの事前予約制

日時 テーマ展「おひなさま」会期中(2月11日~4月3日)の土・日・祝日
10:00~12:00/13:00~16:00

場所 常設展示室内

定員 各日10組

対象 身長100cmから身長140cmまでのお子さま

参加費 常設展観覧券が必要です。※小中学生は無料

注意事項 ・当日、37.5度以上の発熱のある方や体調に不安のある方は、ご参加できません。あらかじめご了承ください。
・写真撮影時以外はマスクの着用をお願いします。
・イベント前後の手洗いと手指の消毒をお願いします。
・新型コロナウイルス感染状況によりイベントが中止となる場合がございます。

※予約受付は1/25~詳しくはHPをご確認ください。

※「弘法大師と衛門三郎の刷り物」は、テーマ展「弘法大師空海伝説と南予の四国霊場・遍路道」(会期：12月21日~1月30日)で展示します。